

# キリスト教会葬儀研究所 (CCFI) - 2012年第2期・期中定例会報告

## ◆今回の参加者：

高見晴彦, 岡田守生, 松谷信司, 武田佐智子

## ◆今期主要議題：

- ・キリスト教葬儀の全体像を掴む

## ◆主要議題に関する報告：

### ▼意見と反応

- ・「葬儀社・関連事業者」のラインは必要だろうか。多くの項目について「本人および家族・近親者など」あるいは「教会・教職」のラインと対応した内容になっている。  
→葬儀社に対しどの範囲のことを依頼することができ、バックグラウンドでどのような動きをしているのかを示すという意味ではあってもよいのではないだろうか。また現在においては実務上連携すべき主体のひとつとして書き出しておく必要はあるように思う。
  
- ・たたき台は（高見が作ったため）表記がプロテスタントに偏っているので、カトリックの情報を追加した用語を併記して補完していく。  
→岡田氏の指導の下、補完していく。
  
- ・教会による教会員への「日常的な啓発」とは簡潔に纏められているが。  
→重要な課題だと思う。今後、別に機会を設けて掘り下げていきたい。
  
- ・拾骨後、遺骨が自宅に帰った直後の扱いについての項目がない。規則がないとしても遺族は気になるのではないか。  
→カトリックでは家庭祭壇の周辺に安置するケースなどがある。プロテスタントでは規則性はほとんどない。そのような情報を軸に、冗長にならない程度に説明を追加する。
  
- ・埋納骨の時期について言及がない。遺族は気になるのではないか。  
→法令上もキリスト教上も規則はなく、地域慣習や遺族の心情に寄るところが大きい。そのような記載を追加する。
  
- ・全体的に情報が過密ではないか。  
→各々の利用者が利用する際、情報を抜粋して利用することよりも存在しない情報を加えることのほうが難しい。だから取りあえずは多いと感じても十全の内容を詰め込んでおく方がいいのではないか。後は印刷物にする際に、レイアウトの工夫や挿絵の追加などで読みにくさ・取っつきにくさを軽減していくことが望まれる。
  
- ・冊子化を行うのか。  
→期待はある。今後、実現可能性を検討する。

## ◆「いのり☆フェスティバル2012」出展内容の検討に関する報告：

### ▼開催日・参加可能者確認

- ・開催は9月29日(土)。参加可能者確認は継続。現時点で少なくとも5名について期待している。

### ▼出展内容についての意見と反応

★今年も「キリスト教葬儀なんでもコーナー」を行うけれども、もっと気軽に利用してもらえるように、前回のように時間を区切った予約制ではなくて自由に立ち寄って質問してもらうようにしたらどうか。複雑な質問や時間のかかる質問についてはロビーなどに場所を変えるか、後日メールなどで回答する方法が考えられる。

★配布物の充実が必要。今期の成果などを印刷物にして配布できるようにしてはどうか。そこからまた質問が湧いてくるかもしれないし、持ち帰って活動を覚えてもらうことにも繋がる。経費などを含め、実行可能な内容は今夏検討。

★葬儀の写真がもっとたくさんあったらイメージしやすい。

→礼拝中の写真は教会側にも撮る私たちもある種の抵抗がある。またご遺族や会葬者のプライバシーの問題もあるので、式中の雰囲気わかりやすいような写真というのは難しいかもしれない。そうすると祭壇生花飾りなどに終始してしまうが、飾り方は葬儀社毎にある程度のパターンがあるので、目端の変わった多数の写真というのもまた難しい。そうすると、やはり点数をしぼって代表的な写真を大きめに伸ばして展示するという事に落ち着くのではないだろうか。

## ◆その他報告：

- ・次回定例会議は7月28日を予定する。